

平成26年2月10日

各位

会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史
(コード番号:4927 東証第一部)
問合せ先 取締役広報・IR担当 藤 井 彰
(TEL. 03-3563-5517)

特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成25年12月期第4四半期に、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなり、これに伴い平成25年10月30日に公表した通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 特別損失の内容

当社の連結子会社H2O PLUS HOLDINGS, INC (本社：米国イリノイ州、以下、エイチツーオープラス)に係る無形固定資産 (のれん・商標権) の減損損失 2,862 百万円を平成25年12月期第4四半期に計上いたします。

(2) 特別損失の計上理由

海洋成分由来のスキンケア・ボディケア品を製造・販売するエイチツーオープラスは、平成23年に買収により当社グループ入りしました。現在、北米・アジア・ロシアを中心に世界20カ国以上で、直営店、代理店を通じた百貨店・化粧品専門店等での展開を行っております。

グループ入り後、シナジー効果としてポーラ化成工業株式会社との新製品共同開発、ブランド認知度向上を目的としたリブランディングの実施等、事業基盤の強化をはかるとともに、中国を中心とするアジア、ロシアを重点地域として、海外事業の拡大にも積極的に取り組んでまいりました。

中国においては、長期的視点でのブランド育成を目的として、平成24年2月に現地代理店を変更しました。しかしながら、旧代理店の在庫消化に伴う出荷の停滞やリブランディング費用が想定以上であったこと、化粧品市場の競争激化による費用増等が影響し、過去2年間の業績は、買収当初の想定を下回る結果となりました。

こうした状況下で、平成26年からの新中期経営計画の策定に伴い、エイチツーオープラスの中長期の事業計画および同事業が生み出す将来キャッシュフローを見直し、これをもとに減損テストを実施した結果、当該減損損失を計上することとなりました。

(3) 今後の取組み

中国では、現在、上記の出荷の停滞及びリブランディングに伴う費用増は収束しております。今後は、新代理店と設立した合弁会社を通じて、店頭情報を基点とした適切な在庫管理、効率的なプロモーション投資を行うとともに、ブランド管理の徹底と迅速な新製品投入を進め、1取扱店当りの売上拡大を目指します。また、米国での収益構造の強化やロシアをはじめ世界各国への代理店展開の加速により、業績向上に取り組んでまいります。

2. 平成25年12月期通期連結業績予想の修正（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 188,500 | 百万円 16,000 | 百万円 16,300 | 百万円 8,200 | 円 銭 148.32 |
| 今回修正予想（B） | 191,300 | 16,000 | 17,800 | 7,300 | 132.05 |
| 増減額（B－A） | 2,800 | － | 1,500 | △900 | |
| 増減率（％） | 1.5 | － | 9.2 | △11.0 | |
| （参考）前期実績 （平成24年12月期） | 180,873 | 13,520 | 14,604 | 6,681 | 120.86 |

修正の理由

連結売上高は、円安による為替影響により前回予想を上回る見通しであります。
 経常利益につきまして、円安による為替差益増による営業外収益増加により、前回予想を上回る見通しであります。しかしながら当期純利益に関しては、特別損失として上記1. の減損損失を計上することにより、前回発表の予想数値から900百万円減少する見込みです。

3. 配当予想について

平成25年12月期の期末配当の予想に変更はありません。期末配当1株当り30円（中間配当25円とあわせて年間55円）を実施する予定です。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上